

## 第50回沖縄県公衆衛生大会および 第50回沖縄県公衆衛生学会の開催ご報告

平成30年11月2日（金）に第50回沖縄県公衆衛生大会と学会を沖縄県市町村自治会館にて開催しました。

午前中に行われた沖縄県公衆衛生学会では、感染症、健康教育、成人保健に関する研究など、幅広い公衆衛生の分野から16題の演題発表となりました。

また、「沖縄公衆衛生（学会）の50年とこれから-食育とヘルスリテラシーから沖縄の健康格差を考える-」のタイトルで、学会長 等々力英美先生による学会長講演で学会行程を終了しています。

午後の大会は、比嘉政昭氏による大会基調講演「沖縄県公衆衛生協会と沖縄の保健衛生活動の展開」で、沖縄県の公衆衛生活動のあゆみを振り返り、シンポジウムでは、「これからの公衆衛生を考える」という事で、座長小川寿美子先生、シンポジストに山城紀子氏、山内優子氏、長谷川敏彦氏、仲宗根正氏、特別発言で比嘉政昭氏の6名によるシンポジウムを開催しました。



大会基調講演の様子

これからの公衆衛生に必要なのは、権利と地域づくりという2つの大きなキーワードが上げられました。



シンポジウムの様子

記念式典では、沖縄県知事表彰（個人6名、団体1団体）、沖縄県公衆衛生協会長表彰（個人21名、団体1団体、永年勤続1名）、沖縄県保健所長会長表彰（個人1名）の皆さまが受賞されています。

これからの皆さまのご活躍に一同期待しています。



表彰者の皆さま

第50回沖縄県公衆衛生大会記念祝賀会も催し、表彰された皆さまと公衆衛生関係者が集い、美味しい食事を楽しみながらご歓談されていました。



記念祝賀会の様子